水稲生産におけるドローン活用検討会を開催

７月２８日（水)、坂東普及センター主催で、水稲生産におけるドローン活用検討会を有限会社シャリーの現地ほ場で開催し、生産者２１名及び関係機関２３名の合計４４名が参加しました。

はじめに、普及センターからドローンによる湛水直播、除草剤散布、追肥作業のポイントとその省力効果、経営診断に基づくドローンの導入について説明し、株式会社TUGUYO桜ドローンスクールから、農業用ドローンの基礎知識の説明と操作実演が行われました。参加者は、ドローンの利用の際に注意すべきポイントを理解するとともに、ドローンの省力効果について実感することができました。有限会社シャリーの鈴木代表から、ドローンの活用により水稲生産にかかる労力を削減し、その労力をカンショ等の園芸品目に注力することで規模拡大と所得向上を目指したいと、今後の展望について話がありました。

次に、株式会社華玉から「鉄黒コート種子」の特徴について説明がありました。「鉄黒コート種子」は、従来の鉄コーティング種子と比較してコーティング後の発熱がなく、催芽籾にコーティングすることができ、出芽、苗立ちの安定化に有効と思われます。「鉄黒コート種子」を播種したほ場の生育は良好であり、移植栽培と同等の収量が得られることが期待できます。

最後に、普及センターから「ふくまる」にイネ縞葉枯病抵抗性を付与した「ふくまるSL」の特性と生育状況について情報提供を行うとともに、斑点米カメムシ類の適期防除について注意喚起しました。

普及センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、管内の水稲生産の省力化、効率化に向けた取組を支援していきます。

令和３年８月２日　坂東地域農業改良普及センター　四宮　一隆（成長産業）